



TANABE

District 2640 田辺ロータリークラブ



ROTARY

Club Weekly Bulletin

ロータリーを祝おう

100年の歩み

2004-05年度
国際ロータリーテーマ
グレンE.エステス・シニア
RI会長

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 辻 啓次郎
 幹事 植田 芳史
 会報委員長 玉井 洋司
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「大銀杏」(中辺路) 撮影 垣淵ひろ子会員

司会者

辻 啓次郎会長

ソング

君が代 歓迎の歌

ゲスト

国際ロータリー第2640地区
 ガバナー 中島治一郎様
 代表幹事 高寺 壽様

ヴィジター

小倉貞三君 (田辺東RC)

本日のプログラム 12/9

日本酒類販売株式会社
 大阪支社営業2課
 松見秀一様
 「焼酎の話」

次回のプログラム 12/16

中村伸吾建築設計室
 代表
 中村伸吾様
 「木の家に住もう」

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総数	81名	16名	65名	
出席計算者	71名	11名	60名	84.51%
11月4日修正出席率		85.92%		

メイクアップ

11/30 榎本長 (御坊南RC)
 11/30 坪井 (田辺はまゆうRC)

お祝い

結婚記念日 12/4 榎本三
 12/4 瀬戸
 12/5 阪本
 皆出席 福本(2年)、榎本長(16年)、串上(16年)
 畑地浩(29年)、多屋睦(34年)、三前洋(40年)

ニコニコ箱

中島ガバナー、高寺代表幹事、ようこそいらっしゃいました。……辻、植田芳、畑地浩
 中島ガバナーよくいらっしゃいました。1991年田辺の地区大会の折は、パストガバナーとして故榎本長平ガバナーと共に指導頂いた事を思い出します。脇村ガバナーいらっしゃいませ。……小坂、玉井洋
 会員辻 弘の葬儀には受付や弔辞など田辺ロータリーの皆様に大変お世話になりました。父になり代わり厚く御礼申し上げます。……辻
 辻弘先生のご冥福を心から御祈り申し上げます。先生の例会卓話「辻説法」は忘れられません。……脇村
 先日の辻家の葬儀の際にはお世話になりました。ありがとうございました。……小川
 11/28に熊野高校、上富田中学校の施設を利用して、近々NPO申請の予定であるスポーツ地域子供教室を開きました。350人の子供達が参加してくれました。長井

大学対抗ゴルフが紀南カントリークラブであり、優勝して日高新報に載りました。……廣本喜
 12月1日午後2時過ぎ二人目の孫が誕生しました。男の子でした。母子共元気です。……木村
 和歌山へ妻と「海猫」を見に行ってきた。……新井
 今夜は田辺ロータリークラブの忘年会です。出席よろしく。……渡部、伊賀
 本日は委員会毎の配置です。ご協力ありがとうございました。……中松

お知らせ

会長報告

- ・先日は、父辻 弘会員の通夜・葬儀にご参列頂きましてありがとうございました。御礼申し上げます。
- ・本日は、国際ロータリー第2640地区ガバナー公式訪問です。年次総会も開催致します。

幹事報告

- ・財団奨学生田中京子さんより第1回報告書が届いています。
- ・近隣クラブの会報、「ロータリーの友」英語版が届いています。

委員会報告

ロータリー情報委員会

笹野委員長

・先週よりお願いしていました「語り合おうロータリー」のアンケート提出よろしくお願ひします。

年次総会

開会

辻 啓次郎会長

田辺ロータリークラブ細則第4条第1節により本日年次総会を開催致します。

定足数の確認

植田芳史幹事

会員総数 81名 出席会員 65名

クラブ細則第4条第3節により会員の3分の1であ

る27名を越える出席がありますので本総会は成立致します。

議題

「次年度役員並びに理事選任承認の件」

クラブ細則第1条第1節の規定に従い10月28日の例会に於いて指名委員会より指名された役員及び理事候補者の氏名を発表致しましたが他の会員より候補者の推薦がありませんでした。よって本日投票されることなく次の方々が当選したことを宣言し、ここで改めて発表致します。

次々年度会長	坪井 敏行君
次年度副会長	田上 雅信君
次年度幹事	木村 頼文君
次年度会計	廣本 喜亮君
次年度理事	新井 康司君
次年度理事	三前 剛君
次年度理事	小川 豊介君
次年度理事	植田 英明君

プログラム

「ガバナー公式訪問」



国際ロータリー第2640地区

ガバナー 中島 治一郎 様

グレン・E・エステス今年度会長さんも同志を増やしたいと会員増強を言っておられます。しかし会員増強を数字だけの面で捉えますと、現在、国際ロータリーで二つの極端な現象が起きています。ドイツは今、非常に会員数を増やしております。この背景にドイツにはもともとあまり会員がいなかったこともあります。一方日本では非常に会員が減っております。昨年一年間を取りましてもドイツは世界で一番会員数を増やし、日本は一番減らしました。ドイツと日本は166あります国際ロータリーに加盟する国の中で国民性、経済力等一番よく似た国だと私は思います。しかしロータリアンの数だけを捕らえますと正反対の結果が出ています。ドイツはたとえばクラブへの入会基準は非常に厳しく律しており厳格に査定して会員を選考しております。そしてなかなか入れないクラブであるため会員がそのクラブに誇りを持ち出す。そうすると退会者が出なくなってくるわけです。

ここ十数年、国際ロータリー自身がいろいろなルールを緩めてまいりました。その目的は会員を増やしたためです。しかし入りやすくなると会員が誇りをもてなくなってくる。そしてやめやすくなってしまふ。ちょうどドイツの逆をいっています。これはどこかで歯止めをかけなくてはならないと思います。今年、ロータリーの100周年を迎えまして各会長さんとお話する中で量的にも質的にも底打ち感が出てきたのは事

実であります。

この100周年目というのは非常に貴重な年であります。先ほど会長さんにかがいますと今年インフォーマルミーティングを盛んに開いて、また出席率も非常に高いように聞いております。私はお互いが討議をし、論じ合えることほど大事なことはないと思います。日本の国はアメリカなどに比べまして論議が少ない国だと思います。しかしこれからは日本の国でも論議が非常に大切になってくると思います。各クラブにおかれましてインフォーマルミーティングとかクラブフォーマルでいろいろな問題を論議していただき新しい世紀のロータリークラブの形というものをもう一度考え直す年にこの100周年をしていただきたいと思っております。

二番目にロータリー財団の活用についてであります。ロータリー財団には国際奉仕を進めていく上で有用なプログラムがたくさんあります。また当地区はご寄付のレベルも世界のベストテンを下ったことはないと思います。またロータリー財団の奨学生に対しましてオリエンテーションのシステムも非常によくできているということでモデルにもなっておりロータリー財団の模範地区の一つになっております。学生の帰国報告を聞きましてもわずか一年の留学でこれだけ成長できるのかといつも感動させられます。皆さんも聞いていただければこのようないいプログラムなら協力しようという気になっていただけたらと思います。GESも然りであります。しかしいいプログラムであっても活用いただけないと何にもなりません。また有用なプログラムを活用するには財政的なバックアップも必要だとお考えいただきたいと思います。



三番目に申し上げたいことはポリオ撲滅運動の完遂であります。来年6月にシカゴで100周年の世界大会が行われますがこのときに地球上からのポリオ撲滅宣言をしたかったのであります。最初運動を始めたときは年間50万人ぐらいのポリオ患者が出ておりました。今年は800人ほど出ていますがそのうち700人弱はナイジェリアであります。現在、大統領も必死になって一斉投与に力を入れてくれているので来年の6月は無理かもしれませんがそう遠くない近い将来ポリオの発生件数はゼロになると思います。その何年後にはポリオが地球上から姿を消したという時を迎えられると思います。



例会後のクラブ協議会にて

